

2019年12月
No.19-166a(全)※1

「肺癌マルチ CDx 遺伝子解析」 検査方法変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、下記項目につきましては、非小細胞肺がんのT790Mを含むまれなEGFR遺伝子変異の検出が追加承認されました。これにより希少なEGFR遺伝子変異の検出に対して、これまで治療の機会が限られていた症例に対して、最適かつ迅速な治療の選択が可能となります。

つきましては、下記期日より追加適用された変異をご報告するため、検査内容を変更させていただきます。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目/変更内容

●[3958] 肺癌マルチ CDx 遺伝子解析

変更内容	新	旧
項目コード	3966	3958
報告形態	EGFR Ex19 deletion EGFR L858R EGFR G719X(新設) EGFR L861Q(新設) EGFR S768I(新設) EGFR E709X(新設) EGFR L861R(新設) EGFR T790M(新設) BRAF V600E ALK Fusion ROS1 Fusion	EGFR Ex19 deletion EGFR Ex21 L858R BRAF V600E ALK Fusion ROS1 Fusion

※上記の EGFR 遺伝子変異 6 つを新たに報告いたします。その他検査要項に変更はございません。

■変更期日

●2019年12月21日(土)受付日分より

以上